

9 わたしに來た救いは

1. 合唱

わたしに來た救いは恵と慈しみによる
どんな業も助けない、我らの守りではない。
信仰はイエスを仰ぎ見る
全き贖いをなし、
イエスは仲立ちとなられた。

2. 朗唱 バス

神は律法をさだめ(られた)、
我らは弱さ故、守ることができず、
罪の道を歩き 誠実な人はなく、
霊は肉にとらわれ、 対抗する力はない。
我らは律法にてらし、ここで鏡に映すように
本能の醜さを示された。
だがわれらはすべなく
己が力をふるい立たせても甲斐なく
罪を離れることはできない。

3. アリア テノール

我らは深みに沈みこんでいた。
深い淵に呑み込まれ、
我らは死に脅かされ、完全に沈んでいた。
淵は死に脅かされていた。
だが苦悩の中にあっても
我らを助けるすべは何もなかった。

4. 朗唱 バス

だが律法は成就される。
ゆえに、この世を救うみ子來たり
律法を成就し、父の怒りを鎮めたもう。
無実の死によりわれらを救われた
この受難の上に立てるものは
決して滅びない。
み国に選ばれるものは
まことの信仰をもってイエスと腕を組むもの (である)

5. 二重唱 アリア ソプラノ・アルト

主はあなたの善き業ではなく、
強い信仰の心だけを見られる。
信仰のみ義とする
他には何も助けるものはない。

6. 朗唱 バス

律法により罪を知れば
良心は碎かれる。
だが、われらの慰めは福音の中にあり、
再び、我らの信仰は強くされる。

7. コラール

たとえ彼が望んでいないように見えたとしても、
怖がらせないでください。
なぜなら、自分の最も得意な場所はどこにあり、
それを発見したくないからです。
神の言葉をもっと確かなものとしてください。
たとえあなたの心が大声でノーと言っていたとしても、
怖がらないでください。

初演 1732-35年

三位一体節第6主日

マタイ5:20-25 山上の教え;パリサイ人の義にまさるキリストの義

ローマ6:33-11 キリストの死より、我ら罪に死んだ
歌詞 不詳

基本コラール パウル・スベラートゥス(1488-1551)

1724年の三位一体6主日、7月16日、
バッハはケーテンに滞在していたので、作曲予定の歌詞を後日のためにとっておいたものと推定される。

(バッハCD全集s285)

歌詞は「人は信仰のみによって、義とされる」 P.スベラートゥス(1523)